

第2次気仙沼市総合計画（平成29年12月27日時点案）に対する意見への対応について

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
1	I-3 教育 (1)教育環境を整え，子どもの生きる力を育みます ②義務教育環境整備計画の推進	63	<p>多様な考えに触れながら主体的・協働的・探究的に学び合うことができる「適正な学校」を目指すべきであり，必ずしも規模にこだわる必要はないのではありませんか？少子化の今だからこそできる「学び」が必要なのです。</p> <p>統合の全てを否定するわけではありません。たくさんの中で学び育つ部分も，少ない中で学び育つ部分もあっていいのです。そんな子どもたちが出会い，刺激し合い，理解し合う。それが多様性であり，協調性であり，主体的・協働的・探究的な心の基礎になると思います。</p>	<p>ご意見の内容については，今後の地域懇談会に活かしてまいります。</p>
		64	<p>それにもかかわらず，主体的な取組は統合ありきで示している。改善すべきは机上で人数だけをみて統廃合を決めるやり方です。学校の良さは決して規模だけでは測れません。40人いたら40個の意見がでるのでしょうか？7人でも1人で2個も3個も意見が出る学校が気仙沼にはあるのです。「小規模はかわいそう」などという先入観は捨ててください。「気仙沼に生まれてかわいそう，東京ならもっとたくさんの経験ができるのに」。これと同じ発想なのです。</p> <p>しかし，そうでしょうか？私は今，そうは思いません。気仙沼で起きているたくさんの課題が「他人事ではないんだ」と，小規模校と言われる学校のPTAとして活動する中で学んだからです。自分が適正規模と言われる学校に通っていた時にはわからなかった気持ちです。</p> <p>いい学校であれば，大事なことは学べるのだと思います。総合計画として載せるのであれば，義務教育環境の整備までとし，統合については今まで通り教育委員会と保護者・地域住民との懇談を通して，信頼関係の構築と不安の払拭に努めるべきです。</p>	<p>本市の児童・生徒数の推移を見ますと，統合がなされたとしても，全ての小・中学校は1学年2クラス以下の小規模校となり，ご意見にある小規模校の良さは維持されると考えます。</p> <p>また，ご意見を踏まえ，基本施策の項目名を下記のとおり修正いたします。</p> <p>『義務教育環境整備計画の推進』→『義務教育環境の整備』</p>

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
	I-3 教育 (1)教育環境を整え，子どもの生きる力を育みます ①教育環境の充実	61	<p>「ねたみや嫉妬など，いじめにつながりやすい感情を減らすために，すべての子どもたちが「認められている」「満たされている」という思いをもてるよう，教職員のみならず，家庭，地域の協力の下で工夫して指導していきます。」</p> <p>→学校内，家庭，地域の方々からの「あたたかい見守りの目」「力強い支援の手」は子どもたち1人1人に向けられ，毎日当たり前のように感じ，日々自信を持って活動しています。</p> <p>ですが，残念ながら「小規模だから」というだけで統合対象にされ，事実と異なる印象を報道され，子どもたちの中には不安感を覚えている子もいます。それでも，前を向いて学校を好きだといえるのは，まさに「認められている」「満たされている」という思いがあるからこそです。</p>	<p>本市の児童・生徒の推移を見ますと，統合がなされたとしても，全ての小・中学校は1学年2クラス以下の小規模校となり，ご意見にある小規模校の良さは維持されるものと考えますが，なお一層，子どもたち一人ひとりに目を向け，大切に育むことができるよう教育環境の整備に努めてまいります。</p>
	I-3 教育 (1)教育環境を整え，子どもの生きる力を育みます ③地域の特色を生かしたESDの推進	67	<p>「課題を見いだすための視点」</p> <p>1 多様性 2 相互性 3 有限性 4 公平性 5 連携性 6 責任性</p> <p>「身に付けたい力」</p> <p>1 批判的に考える力 2 未来像を予測して計画を立てる力 3 多面的，総合的に考える力 4 コミュニケーションを行う力 5 他者と協力する態度 6 つながりを尊重する態度 7 進んで参加する態度</p> <p>→小規模だから持てない視点か。身に付かない力か。答えはNOです。規模ではないのです。現実，素晴らしい小規模校が身近にあります。</p> <p>統合に関しては，その学校毎でどこまでできるかを1校1校きちんと見て，丁寧に対応すべきです。市の総合計画案に一方的に記述していい問題ではないと思います。子どもたちのためにと，今も学校の存続を希望している保護者や地域住民がいるのです。「保護者や地域の理解を得るまで統合はしない」としているのに，耳障りのいい書き方をして総合計画案に統合ありきで載せる</p>	<p>教育委員会では，学校での集団活動や地域に根ざした教育活動を通じて，良好な人間関係を結ぶ力や他人を思いやる心，規範意識やモラルなど社会性を育て，豊かな人間性を育むことを目指しており，このことは引き続き地域懇談会で丁寧に説明してまいります。</p>

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
			<p>のは、行き過ぎではありませんか？僅かながらできたであろう信頼関係は振り出しに戻るのではないのでしょうか？そして、真剣に検討している他の計画の信頼をも失墜させかねません。「懇談会などの市民との話し合いに意味なんかない」「その場だけ繕って、耳を傾ける事も、寄り添う事もする気はない」少なくとも、私にはそう見えます。</p> <p>「小規模は悪。適正規模にすべき」という結論は出ていないのです。不確かな情報や思い込みで気仙沼市の総合計画として載せるべきではないと思います。少子化を嘆くのではなく、これから子どもたちに今できる事、思考を停止せず、常に微調整してください。</p>	
2	<p>I-3 教育 (1)教育環境を整え、子どもの生きる力を育みます ②義務教育環境整備計画の推進</p>	63～64	<p>課題に、学力の維持向上・社会性の育成などを挙げ、学校統合を推進する方針が示されていますが、生徒数の減少・学校の適正規模化を理由に学校を維持しないとすることが、母校に誇りを持って勉強や行事に取り組む児童にとって良いことなのか疑問に感じています。</p> <p>適正規模校、小規模校それぞれに、メリットデメリットが存在している中で、小規模校のデメリットに焦点をあて過ぎではないのでしょうか。(統合以外でデメリットを改善する方法を共に考え、活動出来ないかと思っていたところ、1月11日の水梨小学校での話し合いで、児童2名から40名程へ増加した学校への視察の件が教育委員会から出されました。)</p> <p>各校のメリット・気仙沼の特色を最大限に生かした教育を目指しながら、外部の情報も取り入れ、学びの場を気仙沼独自のカラーとして深めていく方法もあるはずです。</p> <p>また、長期にわたり児童・生徒の増加が見込めない為、統合ありきでこの計画を進める事が、他頁に挙げる気仙沼市の将来像と噛み合うのかを考えた時に、共感出来ず、目標から遠ざかってしまっている様に感じました。</p> <p>急激な好転は望めないとしても、「49頁～結婚・出産・子育て</p>	<p>これまでも地域懇談会でいただいたご意見は、いずれも地域と子どもを思う貴重なものであります。</p> <p>教育委員会としては、全ての意見に耳を傾け、子どもたちが学ぶためのより良い教育環境の整備に活かしてまいります。</p>

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
			<p>での希望を叶えるまち」の目標等と密接な関係にあると思われ、じっくり柔軟に考えていくべきではないでしょうか。</p> <p>教育面と様々な分野を絡めて話すと、小規模校の子供達の現状を第一に考えていない様に受けとめられる事もある様ですが、全ては繋がって循環していると感じます。</p> <p>未婚女性が残りたいと思える地域でないと、どんどん衰退するという意見を耳にしました。ここで子供を産み育てたいと思切れない原因は何でしょうか。晩婚化、少子化と騒がれて居りますが、これも様々な問題に繋がっていると思います。</p> <p>そこで、気仙沼のどの地域に人にも、どんな所に魅力を感じているのか、または何を改善すればより良くなるのか意見を聞き、それらを実行し応援する事が、明るい未来への一歩なのではないでしょうか。</p> <p>5頁の将来像、9頁それらを実現するためのまちづくり、12頁～仕組みづくり、これらを実現する為の市民ひとりとしての自覚を持って、私に何が出来るか、今回が見つめ直す機会になりました。</p> <p>宮城県にも富谷町の様に人口が増えている町はあるので、簡単な事ではありませんが思いつく事にチャレンジしてみたいです。(過疎化を逆手に取った行事や活動をしたらよいのではないかなど)自分が市長の立場だとしたら、市のすみずみまで元気で、各々が意見や希望を持ち、気仙沼を愛する市民であふれて欲しいと望みます。そして、子ども達には、自分とは違う性格や環境の子にも、優しく理解を示せるようになって欲しいです。お互いを認め合うことは、自分を見つめ直すことにも、お互いに高めあうことにも繋がります。その心の余裕や居場所をつくるのは大人の役割です。いじめ・不登校など、早急に解決しなければいけない問題の現状に、危機感を持っています。</p> <p>子ども達のふるさとなが、魅力・活気ある気仙沼市になる様、学校、児童、保護者や地域、関係各所が輪になって根を張って、見</p>	

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
			守り頑張っていく体制を、気仙沼市全体に広げるべきではないでしょうか。	
3	I-3 教育 (1)教育環境を整え，子どもの生きる力を育みます ③地域の特色を生かしたESDの推進	65	<p><u>65頁</u> 「平成27年に国連が提唱し推進しているSDGs（エス・ディー・ジーズ：持続可能な開発のための目標）※3は，世界規模で急速に浸透しています。<u>産業やまちづくりなど教育分野以外の取組との連携をさらに進め，このような動きと連動する必要があります。</u>」</p> <p><u>33頁</u> 「SDGsを国際社会や人々に課せられた使命として捉え，<u>企業活動に活かします。</u>」</p> <p><u>34頁</u> 「<u>関係機関・団体等と連携し</u>，SDGsの普及・啓発や2016年12月に政府が示した持続可能な開発目標（SDGs）実施指針に沿った取組を展開します。」</p> <p>【意見】 SDGsについて，すべての市民が取り組むこととして基本施策に明示しなければならないのではないのでしょうか。</p>	<p>SDGsについては，本計画の中でSDGsを明示している産業や教育分野以外においても，連携しながら取り組んでいかなければならないものと考えております。</p> <p>しかしながら，その対象範囲は幅広いことから，今後の個々の施策の中で活かしてまいります。</p>

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
4	<p>I－6 福祉・地域コミュニティ</p> <p>(2)コミュニティ活動を活発にし、地域、NPO、行政等とのパートナーシップの下、地域課題を解決します。</p> <p>①地域コミュニティ活動の推進 ②市民活動の推進 ③移住・定住の促進</p>	108～114	<p>国勢調査からみる自治会に今後は、当市人口推移予想と比例し高齢化は避けられず、特に災害公営住宅自治会に於いては、既に超高齢化・一人暮らし・高齢者世帯の比率は高く、(H28 気仙沼市 35.8%であるが、災害公営住宅はすでに 60%を超えている。)喫緊の問題と考えます。</p> <p>少子高齢化は避けられず、予想を踏まえた何らかの対策を講じる必要性は詳細な分析(求職・行政サービスの比較・暮らしやすさ等)によりますが、自治会の役割は大きく変貌し、増大することは容易に想像できます。しかしながら補助金(市・県・社協)を交付する事で活動の活性化には、ある程度の効果は望めるものの現状打破には至っていない状況です。</p> <p>自治会の現状と課題として、煩雑な事務方をこなす人材・事業運営の担当者が少なく、最重要と思われる自主防災組織の組織率はようやく 50%を超える程度です。この案件の必要性は十分理解していますが、いつ・誰が・どのように・何をするのか等の具体策に踏み込むと個人情報との兼ね合いから(平成 30 年度には進捗があるようですが。)全く進まないのが現状であり、民生委員の活動にも大きな課題となっています。</p> <p>気仙沼市社会福祉協議会「生活支援体制整備事業の推進について」の主旨も十分に理解されているとは言い難く、多様なサービスや情報共有を謳っていますが、十分理解され、機能しているとは思えないのが現状です。</p> <p>河井雅司の『未来の年表』は、その時代の悪夢のような実態を具体的に紹介しています。第 1 部のタイトルにもなっている「人口減少カレンダー」を見れば 2020 年には女性の半分以上が 50 歳以上になります。明確にしておかなければ、講ずべき適切な対策とは何なのかを判断できず、日本の行く末を変えることは叶わないはずなのに、です。2024 年 3 人に 1 人が 65 歳以上の「超・高齢者大国」に間違いなくなることを前提に対策を練る事が不可欠であることは誰の目にも明らかと思うけれど、危機感(ある意</p>	<p>目標数値については、計画に記載した取組を行うことにより、実現が可能な数値を掲げたところであり、実現に向けて鋭意取り組んでまいります。</p> <p>協働に関しては、協働の仕組みや全体の体系を整理していくことを追記します。</p> <p>自治会の再構築に関しては、地域コミュニティの多機能化を進めていく中で、どのような支援ができるか検討してまいります。</p>
	<p>II－1 対話・共創・協働</p> <p>(1)地域リーダー育成を基礎とし、住民と行政、営利(産業)と非営利が世代や立場を超え、対話を通じ進むべきベクトルを合わせながら、共創、協働を行う住民参加によるまちづくりをまちまるごと大学「まち大学構想」として展開します。</p>	148～159	<p>河井雅司の『未来の年表』は、その時代の悪夢のような実態を具体的に紹介しています。第 1 部のタイトルにもなっている「人口減少カレンダー」を見れば 2020 年には女性の半分以上が 50 歳以上になります。明確にしておかなければ、講ずべき適切な対策とは何なのかを判断できず、日本の行く末を変えることは叶わないはずなのに、です。2024 年 3 人に 1 人が 65 歳以上の「超・高齢者大国」に間違いなくなることを前提に対策を練る事が不可欠であることは誰の目にも明らかと思うけれど、危機感(ある意</p>	

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
	①産業人材・まちづくり人材の育成，対話・共創の場の活用 ②住民自治と協働の推進 ③公民館の多機能化・市民化の検討 ④地域コミュニティの多機能化の推進 ⑤コミュニティビジネス，ソーシャルビジネスの促進 ⑥男女共同参画，女性活躍の推進		<p>味有事だ）に薄い現実。</p> <p>自治会・振興会等は任意団体であることから，行政がどこまで入り込むかジレンマではありますが，互いに責任を押し付ける事態になりつつあり，また，行政が出来る事はここまでで，後は自治会の皆さんで・・・と言っても，進む方向にいかない現実を踏まえ，私はあえて踏み込む指導を行ってきました。</p> <p>自治会・自治連の高齢化・人材不足問題は以前より叫ばれていますが，遅々として若返りが進んでいない現実。</p> <p>まず目標達成までのプロセスとして解決しなければならない事項を挙げます。</p> <p>①問題の元凶を洗い出す。</p> <p>自治会長（役員）を引き受けない理由。 （以下，例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会長を10年以上継続している人が多い。 （一旦引き受けたらなかなか辞められない。） ・仕事量と責任が大きい。（昼間の会合・土日の行事・役所との渉外・冠婚葬祭・事務手続き等。） ・自治会長の自己負担金が少なくない。 （目に見えない交際費，通信費，交通費等。） ・個人的な面倒な人間関係に踏み込まざるをえない。（個人情報保護法の壁） ・女性の会長，役員が非常に少ない。 （意見は多いが，年配者が多く，一歩引く習慣が残る。） <p>②将来像を描く。（以下，例）</p> <p>輪番制をイメージした構想で，お互い様精神の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の会長を50%まで引き上げる。 （2020年には女性の50%以上が50歳以上になる現実） ・会長の多選を原則禁止し，定年制とし，男女交代制を基本とする。 ・会長の仕事の分散化，減量化。 	

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
			<p>・会長挨拶等はできるだけ廃止し、形式より実効性を優先とする。</p> <p>・会長（役員を含む）に対する報酬を捻出する。</p> <p>・自治会共通の事務処理等は自治連等を中心に事務組合（NPO等）を設立し、煩雑な事務処理・配布チラシ等を外部委託し、誰が担当者になっても困らない体制づくりを目指す。</p> <p>③いつまでに誰がどのように行動に移すかを計画する。</p> <p>・復興改革事業は今年度を除いてあと3年であることから、政府・各自治体の予算を勘案し、3年を目途とする。</p> <p>・各年度の半期ごとの目標とタイムテーブルを作成し、出来る事からすぐ実行する。</p> <p>◎現況からの脱皮には数年間の時間を要する事は容易に推察できるが、危機意識に乏しいのが現状。</p> <p>気仙沼市の人口問題に対する基本認識と一般の人の声</p> <p>■1 気仙沼市の人口問題をどう受け止めるか。 ・・・（どうにもならん！）</p> <p>■2 人口の流れを変えるために。 ・・・（どこの地域も、それなりにやっているけど気仙沼だけ特別な事やってるの？）</p> <p>■3 世界で活躍する気仙沼とふるさと気仙沼の絆。・・・（片思いじゃないの？）</p> <p>■4 交流人口の増大・第二市民構想。 ・・・（他に比べてそれほど魅力的とは思えん。）</p> <p>■5 「世界に羽ばたく産業のまち」「日本で一番住みたいまち」。・・・（お題目だけ？本当になるとは正直思えない。）</p> <p><u>某経済紙の情報によると『住みよさランキング』で47都道府県中、宮城県は42位。宮城県の中で気仙沼は高卒・短大卒・大卒の初任給は最低である現実を直視したらそんな事になり得ない。薄々非現実的な目標ととらえている。耳障りのよいスローガ</u></p>	

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
			<p>ンばかり並んでいるが、いつ・誰が・何を・どのように行うかイメージできない。目標に対してどのようなアプローチをするか行政は理解しても、市民側の手法が解らないのが現実である。</p> <p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が、これなら実現可能かなあと思える目標値にする。 ・かなりの努力が必要であれば、アプローチ・手法・協働の具体策を明確にし、残りのタイムテーブルに表示する。 ・協働の意味を理解し、行政・市民の問題意識の共有と解決するための知恵を、具体的に何をすれば出来るのか再考する。 ・市民の取り組みには努めます。とあるが現状の体制では努めようがありません。時代に合った自治会の具体像から再構築するお手伝いを必要としています。 	
5	<p>基本構想 1 将来人口</p>	5	<p>1. 総人口に占める高齢者の比率は近い将来 40%に達しようとしている、一方、震災以降人手不足が深刻さを増しており、職種によって社会問題となっている。平成29年3月31日現在60才含めた前期高齢者数は16,067人、総人口に占める割合は24.5%に達している。これらの方々の知識、技術、経験を生かした働き方についてシルバーセンターのみならず人手不足解消の一策となるよう基本政策として取り上げることが提案したい。</p> <p>2. 上記について平成32年末の人口を64,339人と予測しているが、29年末において64,947人に減少している、自然現象のみを捉えても625人となっていることから鑑み平成32年末においては63,000人程度が予想される、実態と大きく乖離することは市民の基本構想への信頼を損なうことになり兼ねないので、将来人口予測の見直し、特に平成32年については精査し、訂正することを求めたい。</p> <p>3. あるべきまちの姿、 “若者が挑戦できるまち”も良いと思いますが将来の人口構成を</p>	<p>1 基本計画「I-1 産業 (2)-②雇用の安定と労働環境の充実」の中で、高齢者が働きやすい環境づくりに努め、担い手の確保につなげる旨を記載しております。ご意見を参考とし、本計画に基づき実施する各種施策の中で取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>2 本計画では、平成28年度に策定した気仙沼市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンと整合性を図っております。平成27年国勢調査等、算出に必要な詳細データが揃い次第、人口ビジョンの見直しを行うこととしており、それを踏まえて適切な見直しを行います。</p> <p>3 将来像については、原案により審議会に諮りたいと考えており、ご意見は参考とさせ</p>

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
			考慮すると“誰もが挑戦できるまち”が最も相応しいと考える、	ていただきます。
	I-1 産業 (1)地場産業や地元企業の競争力を強化し、市場を海外にも求め、持続可能な地域経済を構築します。 ⑤地域経済循環の強化(ローカルファースト)	28	1. 下段地域・事業者の欄 ローカルファーストを強調することは内向きとなり他地域、海外へ販路を求めることと相反しますので、掲載順序を変えると共に・・・販売する物の調達量にも配慮します、に改める。	主な取組(地域・事業者)の欄の中の掲載順序は原案のとおりとさせていただいた上で、次のとおり修正いたします。 『販売する物の調達量を増やします』 →『販売する物の調達量に配慮します』
	前期基本計画 1 横断的に取り組む重点施策	11	下から7行目、行政も一緒になり⇒行政も一体となり	文章全体を見直し、「行政も一緒になり」は削除いたしました。
	I-1 産業 (1)地場産業や地元企業の競争力を強化し、市場を海外にも求め、持続可能な地域経済を構築します。 ①基幹産業として水産業の振興	14	・下から5行、目排卵数に年による⇒排卵数に年毎による ・下から3行目、安全・安心への要求が⇒安全・安心への関心が	ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたします。 『採卵数に年による』 →『採卵数に年ごとによる』 ご意見を踏まえ、下記のとおり修正いたします。 『安全・安心への要求』 →『安全・安心への関心』
		16	地域・事業者 労働環境の充実を図り⇒労働環境の改善を図り (理由：現在の給与水準等を考慮すると改善に改めるべきでは)	ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたします。 『労働環境の充実』 →『労働条件の改善』

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
		17	上から3行目、・・・船舶職員養成に係る取組に支援を行います ⇒船舶職員養成に係る取組に対して支援を行います、	ご意見を参考に類似の表記を『取組を支援します』と、文言を統一させていただきます。 【修正箇所（3点）】 <遠洋・沖合漁業の振興> ・漁業者等が行う収益性の改善・回復を目指した取組を支援します。 ・新規就業者確保や船舶職員養成に係る取組を支援します。 <沿岸・内水面の強化> ・漁業者等が行う6次産業化に関する取組を支援します。
	I-1 産業 (1)地場産業や地元企業の競争力を強化し、市場を海外にも求め、持続可能な地域経済を構築します。 ②農業の振興	20	下から20行目、・・・充実を図るとともに、高度な技術⇒充実を図るとともに、宮城県、農業団体と連携し・・・	宮城県気仙沼地方振興事務所、南三陸農業協同組合とも連携しながら新規就農者を支援している実績もありますので、寄せられたご意見を取り入れ、次のとおり追記します。 『自主的研究組織の育成と活動の充実を図るとともに、国や県、農業団体等関係機関と連携し、高度な技術と優れた経営能力を持つ農業後継者の育成に努めます。』
	I-1 産業 (2)市内外の力を結集し、新たな産業と挑戦する人材を創出します。 ①産業の多様化、起業・創業支援と企業誘致の推進	31	下から17行目、創業、企業者に支援する⇒創業、企業者を支援する・・・	ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたしました。なお、企業者は起業者とします。 『創業、企業者に支援する』 →『創業、 <u>起業者を支援する</u> 』

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
		33	主な取組 市民の欄 ……挑戦する若者を⇒挑戦する事業者を	ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたしました 『挑戦する若者を』 →『挑戦する事業者を』
	I-1 産業 (2)市内外の力を結集し、新たな産業と挑戦する人材を創出します。 ②雇用の安定と労働環境の充実	35～36	労働環境の充実、改善の字句が混同されており、改善に統一すべきでは、	労働環境については『充実』に、労働条件については『改善』に、文言を統一します。
	I-1 産業 (3)世界に開かれた観光・交流都市を実現します。 ①観光振興に向けたDMOの推進	43	基盤整備、誘客施策 観光資源としての大島大橋、湾岸ブリッジの活用方法を追加しては如何ですか、	ご意見を踏まえ、【主な取組（行政）】の欄に次のとおり追記します。 『「気仙沼大島大橋」と「(仮称)気仙沼湾横断橋」の2つの湾岸ブリッジを活用し、展望スポットの紹介とともに橋そのものがフォトジェニックとしてSNS等で話題を呼ぶような取組を進めます。』
	I-3 教育 (1)教育環境を整え、子どもの生きる力を育みます。 ②義務教育環境整備計画の推進	64	行政欄 下から4行目 ・既に統合した学校の保護者及び中学生による、……に改める、	子どもたちによる統合体験談の披露については、教育的配慮から慎重に考えたいと思います。
	I-7 防災 (1)自助・共助・公助による災害死ゼロを目指します。 ①防災対策の充実	116	主な取組の行政欄 ・消防団員の待遇の改善を図り定員の確保に努めます、を追加すること、	消防団員の待遇の改善と定員の確保については、②「消防体制の充実」に記載しています。なお、②「消防体制の充実」の現状・課題の＜消防団＞の中に「消防団員の報酬については、平成29年4月に改定しています。」と追記し、【主な取組（行政）】の欄の＜消防団の充実・強化＞の中に「消防団員の待遇改

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
				善については、定期的な見直しを行います。」と「団員活動支援するため、装備品の更新を計画的に進めます。」と追記いたします。消防団員の確保の取組については、同欄の「消防団の充実・強化」の中に掲載済みです。
	Ⅱ－２ 地域経営 (1)健全で効率的かつ効果的な行財政運営を行います。 ③地方公営企業の経営健全化	171	<p>主な取組市民欄 ・上水道。下水道，ガス料金等の・・・⇒病院の診察料金，上水道，下水道，ガス料金等の・・・に改める</p> <p>主な取組行政欄の病院の項目 医師の確保については・・・の項目の次に ・患者に寄り添った診療に努めるとともに来院患者数に応じた適正な人員の配置を実施いたします， 末尾に以下を追加すること， ・市立気仙沼病院に係る旧病院等不要資産の利活用又は処分(案)を早期に取り纏め，実行し，財務の健全化と経営の改善に努めます，</p>	<p>ご意見を踏まえ，次のとおり修正いたします。 『病院の診察料金』→『病院（医療費等）』</p> <p>ご意見を踏まえ，【主な取組（行政）】の「病院」の項目部分については，次のとおり修正いたします。 『患者に寄り添った診療や看護に努め，市民に親しまれる病院を目指します。』 『医療従事者の人材確保と適正な人員配置に努めます。』</p>
6	Ⅰ－３ 教育 (1)教育環境を整え，子どもの生きる力を育みます ②義務教育環境整備計画の推進	63～64	<p>少子化の現状は理解できるものの推進にあたってはもっと，住民，地域に説明をしたうえで取り組むべきと考えます。 震災直後に義務教育環境整備に関する説明会が，大谷地区でも開かれたようですが，当時，地域の関心は生活再建が優先され，説明会への出席はごくわずかだったと聞いております。その後，地域への説明がないまま統合計画が進められている感が否めません。 統合計画を考えたり，賛成や反対の判断ができない状況で，住民が置き去りされた形となっています。まずは，整備計画，統合の目的，具体的な統合案，検討経過などを説明する必要があると考えます。 学校は教育の場であることは重々，承知しております。一方で人口減少が進む中で，地域振興，地域コミュニティの拠点にも</p>	<p>義務教育環境の整備に当たっては，保護者や地域への十分な説明と議論は不可欠と考えております。学校統合は地域の重要な課題であり，説明に当たっては，地域の実情を踏まえることが重要と考えております。 学校ごとの個別の対応については，本計画には記載はできませんが，ご意見を踏まえ，丁寧かつ慎重に進めてまいります。</p>

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
			<p>なっていると考えます。学校統合は保護者の理解はもちろんのこと、地域の重要な問題で地域の理解が不可欠です。地域全体で考え取り組まなければならない問題でとの思います。</p> <p>重要な案件で関心が高い問題でもあり、ややもすると感情的になりやすい問題です。手法を誤ると、これまで築き上げてきた地域が分裂しかねません。そうなってしまつては元も子もありません。</p> <p>よつて、統廃合の進め方においては、地域住民に対し説明会を早期に行い、住民と行政が十分に協議し、理解と納得を積み重ねたうえで統廃合の方向性を検討していくことを、内容に盛り込むようお願いいたします。</p> <p>十分な説明、慎重な対応をお願いします。</p>	
7	基本構想 2 将来フレーム	5	<p>人口フレームで平成38年高齢化率 39.1%となると示されている。</p> <p>ここにこだわつてほしい。</p>	<p>高齢者福祉はもとより、子どもの数を増やし、また、都会に出られた方を呼び戻すような施策を基本計画の中で盛り込んでおります。</p>
	I-2 結婚・子育て (2)働きながら子育てができ、子どもの健やかな成長を地域みんなで支えるまちにします。 ①妊娠・出産・子育て支援の充実（プロジェクト1.90の推進）	51	<p>合計特殊出生率を1.91に引き上げるための施策として、働き方の改革と、市立病院の小児科・産婦人科の充実を。</p>	<p>経済的基盤を下支えするため、ワーク・ライフ・バランスへの配慮や働き方改革、男性の育児休業所得や事業所内保育の推進については、【主な取組（地域・事業者）】の中に記載しております。</p> <p>気仙沼市立病院は、気仙沼地域唯一の分娩可能な施設であり、「地域周産期母子医療センター」として、現在常勤小児科医2名、産婦人科医4名体制で、周産期医療（妊娠22週から出生後7日未満まで）の充実を図つていくところです。</p>

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
	I-5 保健・医療 (2)いつでも安心して医療が 受けられるまちにします。 ①医療の充実	95	教育の課題に、専門学校誘致の前に、市立病院附属看護専門学校 充実が必要。専門の教授〈学者〉を配置し、卒業生の即戦力化 と、気仙沼市に就職する看護師作りに良案を。	市立病院附属看護学校は、現在、9名の専 任教員と専門職の外部講師を招き、社会に貢 献できる看護師の育成に努めております。 看護学校を卒業後、地元への就職率向上を 目的に市内高校を指定した推薦入学制度を導 入しております。 また、地域理解を深めるため、地域で開催 される各種イベントへのボランティア活動へ の参加を図るなど、様々な観点から地元への 定着に取り組んでおります。
	I-5 保健・医療 (2)いつでも安心して医療が 受けられるまちにします。 ①医療の充実	94～96	もっと現場に即した記述を求めます。	計画案は、気仙沼市医師会・気仙沼歯科医 師会・気仙沼薬剤師会等からも、ご意見をい いただきながら取りまとめております。
	II-2 地域経営 (2)地域の資産・資源を有効 活用し、賑わいと産業を創 出することにより、外貨を 獲得するとともに、経済の 地域内循環を活発にしま す。 ①市有財産の適正管理と有 効活用	177	田中前の病院撤退の後のまちづくりと、跡地利用の方策が必要 ではないか。 一例として、病院施設として使える部分のサテライト利用によ る、高齢者対策事業など考えられないか。	旧市立病院跡施設の利活用については、市 立病院跡施設利用検討委員会において検討し てまいります。これについては、【主な取組(行 政)】の中に追記いたします。
8	I-3 教育 (1)教育環境を整え、子ども の生きる力を育みます ①教育環境の充実	59	震災復興を果たしていく人材の育成を見据え、子どもたちの発 達と学びには連続性を踏まえた教育が重要とし、幼稚園、小学校、 中学校、高校の連携をさらに進めることには共感を得る。然るな らば、すでに幼少中の連携がなされている地域はその継続に努 め、さらには近隣自治体では既に行われている小中一貫教育など 先進教育の導入も十分議論すべきと考える。	小中一貫教育の導入に関しましては、今後 検討すべき内容であると考えますが、児童・ 生徒数が少ない小規模な小学校と中学校の場 合、児童・生徒の人間関係や相互の評価の固 定化への課題は残るものと考えており、将来 的な検討課題とさせていただきます。

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
		62	市内児童生徒の学校生活における平等な安全性と利便性の確保は、市政の努めるところであり、老朽化し整備が必要と認める学校施設の改修は、実施の遅れが予見される義務教育環境整備計画に関することなく速やかに行われるべきである。	老朽化により整備が必要な学校施設は、教育委員会において現場を確認し、緊急度の高いものから随時補修し、多額の費用を要する改修については、財源の確保に努めながら計画的に実施しております。
	I-3 教育 (1)教育環境を整え、子どもの生きる力を育みます ②義務教育環境整備計画の推進	63	気仙沼市の将来を担う子供たちの教育にかかわる重要な計画にもかかわらず、児童生徒数の減少を主たる理由とした義務教育環境整備計画の推進は多くの市民の理解に難く、当該地域や保護者に不安と混乱を生じさせている現実を十分に踏まえたうえで総合計画を策定するべきと感じる。目指す統合の意義から3段階に分類され、同段階の中でも一校ごとに異なる問題を抱えていることには関せず、総合計画の中では一つの計画として捉えて推進するということには違和感を覚える。さらには現在、第2段階の熱心な議論がなされている最中であることから、現時点での推進を言及した内容を総合計画に盛り込むのは時期尚早であると思われる。	ご意見を踏まえ、基本施策の項目名を下記のとおり修正いたします。 「義務教育環境整備計画の推進」→「義務教育環境の整備」 教育委員会では、学校での集団活動や地域に根ざした教育活動を通じて、良好な人間関係を結ぶ力や他人を思いやる心、規範意識やモラルなど社会性を育て、豊かな人間性を育むことを目指しており、このことは引き続き地域懇談会で丁寧に説明してまいります。
		64	(上段) 主な指標について 学校統合の目標を数値で表記したことは、統合ありきで計画を一方的に進めようとする心証を受けるもので、義務教育環境整備計画を進める上で大切な相互の信頼関係を著しく損なうことにも繋がりがねず、現時点で明記することは不相当だと考える。	ご意見を踏まえ、『義務教育環境整備計画の推進』を『義務教育環境の整備』に改め、指標を削除いたしました。
			(中段) 主な行政の取組について 学校統合に向け地域の理解を得るとする所在が明確にされず、平行線の議論を繰り返す地域懇談会を「学校統合だより」の配布で解消するという考えは安易だと受け止められる。地域懇談会は在り方を根本から見直す必要性があり、同計画の意義、学校統合の良否両面やそれに係る行政コストも開示するなど丁寧な説明が必要不可欠で、地域や保護者と本音で向き合う姿勢を示してじっくりと腰を据えて取組むべきだと思われる。	地域懇談会の内容につきましては、懇談会に出席できなかった方を含め、様々な手法により、地域の方々への周知を図ってまいりたいと考えており、文言を修正いたしました。 また、これまでの地域懇談会のあり方を見直し、改めるべきところは改めながら丁寧な説明に努めてまいります。

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
9	II-1 対話・共創・協働 (1)地域リーダー育成を基礎とし、住民と行政、営利(産業)と非営利が世代や立場を超え、対話を通じ進むべきベクトルを合わせながら、共創、協働を行う住民参加によるまちづくりをまちまるごと大学「まち大学構想」として展開します。 ④地域コミュニティの多機能化の推進	155	「主な取組」 (市民)・課題解決→地域課題解決にしてはどうでしょう。 (地域)・地域を調査し、課題を見出すことに努めます。→「地域活性化支援員などと連携し」という言葉はどうでしょう。	ご意見を踏まえ、主な取組を下記のとおり修正及び追記いたします。 【主な取組(市民)】 『課題解決』→『地域の課題解決』 【主な取組(地域)】 『地域課題の調査等を行う地域活性化支援員制度の活用を検討します。』
10	I-3 教育 (1)教育環境を整え、子どもの生きる力を育みます ②義務教育環境整備計画の推進	63	これまで教育委員会と地域住民・保護者とで議論を続けて来ている義務教育環境整備計画が、教育委員会から地域住民・保護者に何の説明もなく、この度総合計画に盛り込まれたことに疑問と恐怖を感じる。 「議会を通過したのだから教育委員会としても統合を進めざるをえない」となってしまう可能性があるのではないかと、今後、様々な施策がそのように施行されて行くことになってしまうのではないかと、という絶望にも似た恐怖を感じる。 子どもは大人というフィルターを通して社会を見ている。この現状がすでに、子どもたちの教育環境の基盤となっている、という事を忘れないでいただきたい。 私たち市民全員が、自分の思考や感覚が影響を受けているものが、何なのか、を明らかにして計画に取りかかる必要がある。 少子化社会だから、児童が少ないから、切磋琢磨出来ないから(推測)、社会性が育ちにくいから(推測)、複式はデメリットが多いから(推測)、それらをもって「だから統合する」は正しいのか。疑問である。	ご意見の内容は、義務教育環境の整備の基本となる部分であり、教育委員会としてもこれまでの地域懇談会を振り返り、改めるべきところは改めながら丁寧な説明に努めてまいります。

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
			<p>丸森町の耕野小学校(児童数 14)は主体的な学びで成長を促す、と複式効果が評価されている。他にも少人数の強みを生かした学校運営をしている小学校は存在している。</p> <p>失くしたモノはもう戻らない。失くす前に今一度、考え直す必要があると思う。</p> <p>気仙沼で子を育てる親としては、小学校の規模や学力の問題よりも、気仙沼高校の学力、進学実績の方が気になる場所である。そちらに力を入れて整備していただきたい。</p>	
1 1	<p>I-6 福祉・地域コミュニティ</p> <p>(1)誰もが自分らしく暮らせる福祉のまちにします。</p> <p>③障害者福祉の充実</p>	103～104	<p>1. 障害者団体とはどのような団体を指すのでしょうか。</p> <p>2. 【主な取り組み】の市民の項目は健常者のみを対象としているように読み取れますが、障がいのある人たちが市民の一員として共生社会の実現に向けてどのようなことに取り組むべきでしょうか。</p> <p>3. 地域で自立した生活を送れるように就労系サービスの充実と利用促進が挙げられていますが、自立した生活とは経済面での自立のみではないことと、障がい児もその対象に含まれるべきではないという考えから、余暇活動支援や行動援助、移動支援などの障がいのある人たちの暮らしの幅が広がる支援事業の充実も図ることで、より社会参加へと繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>4. 障がいのある人たちやそのご家族などの意見がどのように反映されているのかを読み取ることが叶いませんでした。どの項目にどのような意見が反映されているのでしょうか。また、差し支えがなければその意見はどのように集められたのでしょうか。</p> <p>5. 社会参加への支援・促進を行うにあたり、障がいのある人たちが主体となり自分たちの暮らす社会環境に対して考え・意見を述べる機会の創出、それを行うための支援、促進が必要ではないのでしょうか。</p>	<p>1 市内においては、気仙沼市身体障害者福祉協会、気仙沼視覚障害者福祉協会等があります。</p> <p>2 地域での集会や活動に参加し、地域の人たちに理解してもらうことが大切です。その上で、地域において自分ができることを進んで行い、また、日常生活等で自分ができないことを地域の人に支援してもらう等、支え合いの地域づくりを進めていくことが重要と考えます。</p> <p>ご意見に基づき、【主な取組（市民）】に、次のとおり追記いたします。</p> <p>『障害のある人についても、地域活動等に参加し、地域の人たちに理解してもらうことに努めるとともに、地域において自分ができる役割を担っていきます。』</p> <p>3 ご指摘のとおりであり、〈障害福祉サービスの充実等〉において障害児通所支援の中に、幼児のための児童発達支援や小中高生への放課後等デイサービス、地域生活支援事業の中に移動支援等があり、量的・質的な向上を掲げております。</p>

No.	計画の体系	ページ 下段：修正案 のページ	寄せられた意見	意見に対する市の考え方
				<p>また、個別計画である障害者福祉計画では、障害者スポーツの振興を掲げております。</p> <p>4 今年度の障害福祉計画・障害児福祉計画の策定に際して障害のある人にアンケート調査を実施しております。その中で「障害福祉サービスの充実」や「障害のことをわかってほしい」、「自分が生きているうちはいいがこの先の子どものことが不安である」などの意見が出されております。これらを課題と捉え、総合計画にも反映させております。</p> <p>なお、障害福祉計画等の策定においては、計画策定委員会において障害者団体やサービス事業者の方々から審議頂くとともに、今後、障害福祉サービス利用者等の意見を伺ったり、パブリックコメントを実施し、策定してまいります。</p> <p>5 障害のある方の参画は非常に重要であり、市では、障害施策に関する会議においては、障害のある方や家族に、出席をいただいて意見を頂戴しております。</p> <p>今後、さらにその機会を増やしていきたいと考えております。</p>